

第43回 中央区政 世論調査

概要版

平成25年5月実施

【調査の項目】

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1 定住性 | 7 防犯対策 |
| 2 防災対策 | 8 スポーツ |
| 3 健康診査 | 9 中央区コミュニティバス
(江戸バス)の運行 |
| 4 高齢者対策 | 10 施策の要望・評価 |
| 5 子育て支援 | |
| 6 男女共同参画社会 | |

【調査対象】中央区に居住する満20歳以上の男女個人
(外国人区民を除く)

【対象者】2,000人

【抽出方法】無作為抽出法
平成25年4月1日現在の住民基本台帳に
登録された満20歳以上の男女107,326人より
一定の割合で系統的に抽出

【調査方法】郵送法(郵送に準じた配布・郵送回収)

【調査時期】平成25年5月10日(金)～5月27日(月)

【調査機関】株式会社エスピー研

【回収結果】回収数 1,047 回収率 52.4%

2013 CHUO CITY

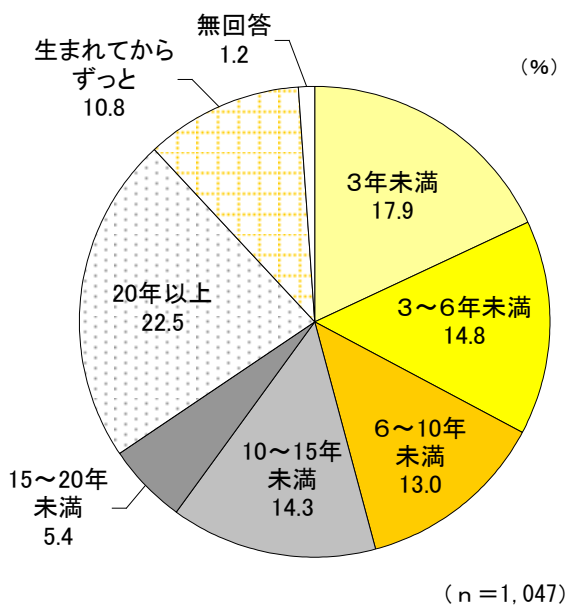


1 定住性

■ 居住年数

『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は33.3%で3割を超え、『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）も32.7%で3割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、昨年は『短期居住者』が減少し、『長期居住者』が増加していたが、今年の調査結果では『長期居住者』と『短期居住者』がともに減少している。

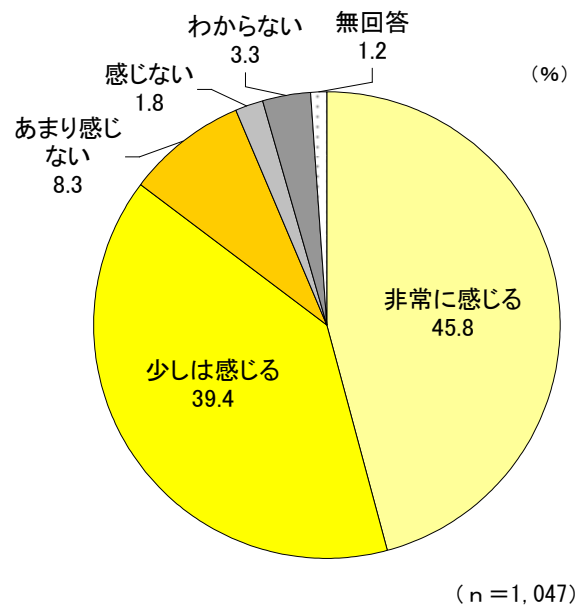


■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は85.2%で8割台半ばである。

一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は10.1%にとどまっている。

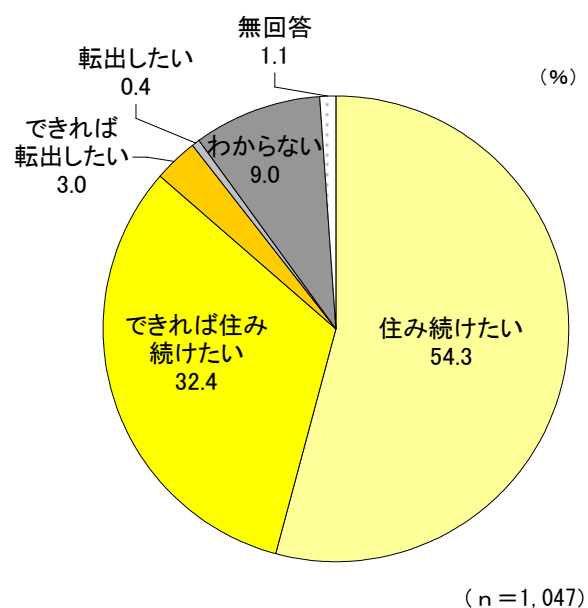
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成18年から継続して8割以上を占めている。



■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は86.7%で9割近くである。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は3.4%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は平成23年から減少傾向にあったが、昨年の調査結果より2.4ポイント増加している。

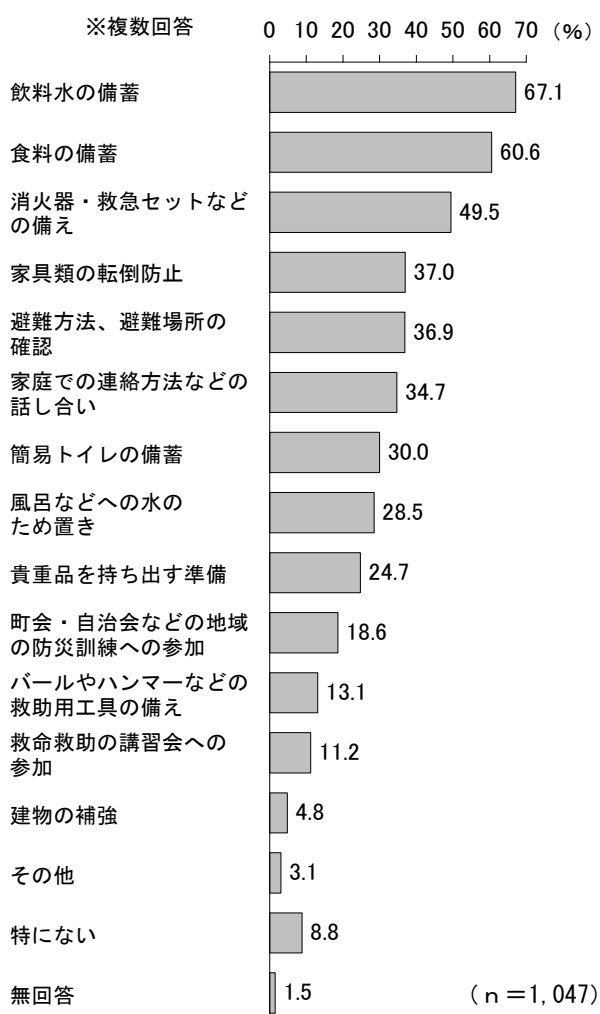


2 防災対策

■家庭での災害に対する備え

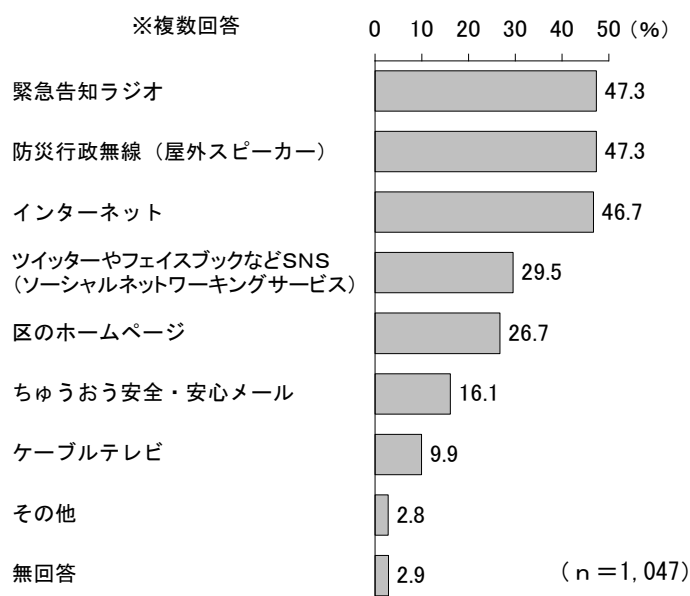
「飲料水の備蓄」(67.1%)が7割近くで最も高く、以下、「食料の備蓄」(60.6%)、「消火器・救急セットなどの備え」(49.5%)、「家具類の転倒防止」(37.0%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「簡易トイレの備蓄」は6.5ポイント増加し、「家具類の転倒防止」は3.1ポイント減少している。



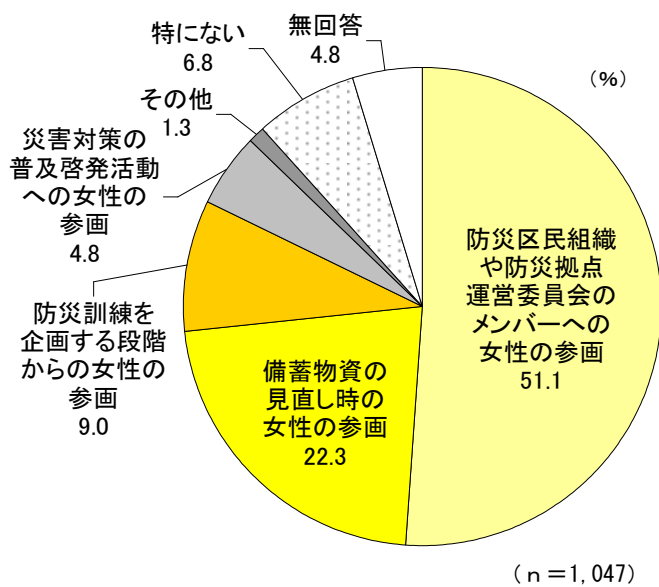
■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「緊急告知ラジオ」と「防災行政無線(屋外スピーカー)」(ともに47.3%)が5割近くで最も高く、以下、「インターネット」(46.7%)、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(29.5%)、「区のホームページ」(26.7%)などが続いている。



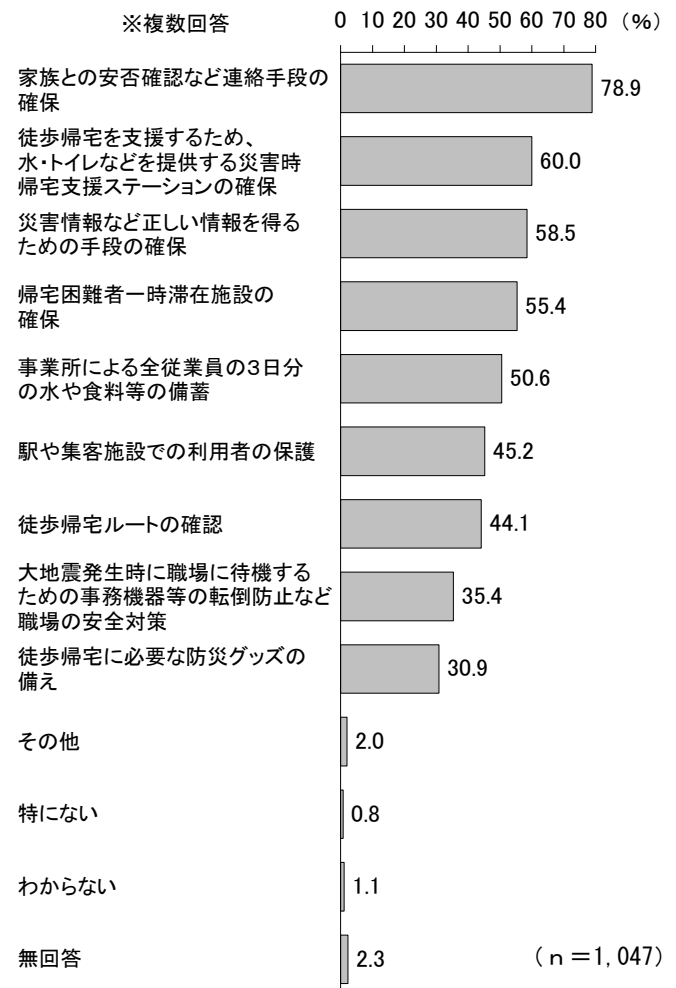
■防災対策に女性の視点を生かしていくために必要なこと

「防災区民組織や防災拠点運営委員会のメンバーへの女性の参画」(51.1%)が5割を超え最も高く、以下、「備蓄物資の見直し時の女性の参画」(22.3%)、「防災訓練を企画する段階からの女性の参画」(9.0%)、「災害対策の普及啓発活動への女性の参画」(4.8%)などが続いている。



■帰宅困難者対策で大切なこと

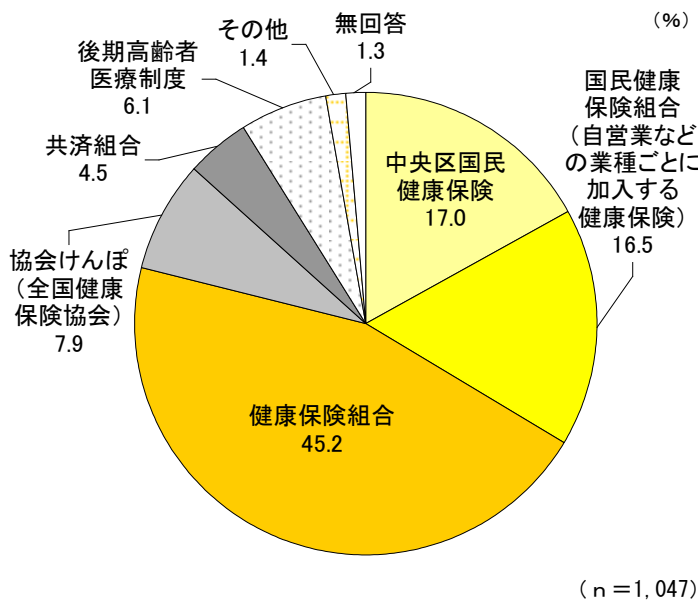
「家族との安否確認など連絡手段の確保」(78.9%)が8割近くで最も高く、以下、「徒歩帰宅を支援するため、水・トイレなどを提供する災害時帰宅支援ステーションの確保」(60.0%)、「災害情報など正しい情報を得るための手段の確保」(58.5%)、「帰宅困難者一時滞在施設の確保」(55.4%)などが続いている。



3 健康診査

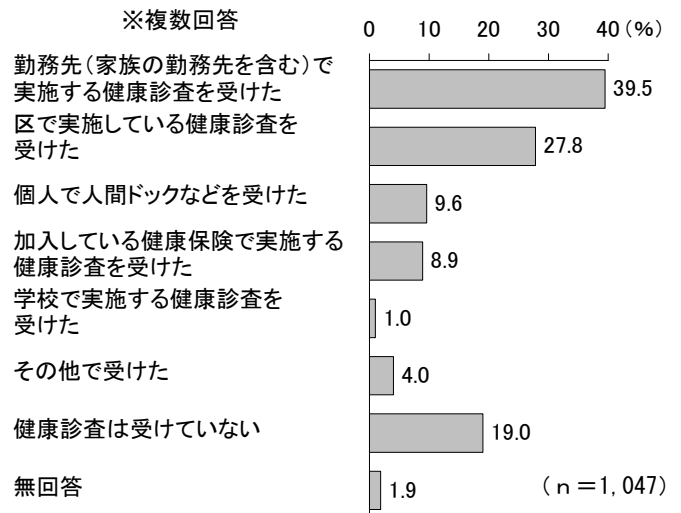
■ 加入している健康保険

「健康保険組合」(45.2%) が4割台半ばで最も高く、以下、「中央区国民健康保険」(17.0%)、「国民健康保険組合(自営業などの業種ごとに加入する健康保険)」(16.5%)、「協会けんぽ(全国健康保険協会)」(7.9%)などが続いている。



■ 健康診査の受診状況

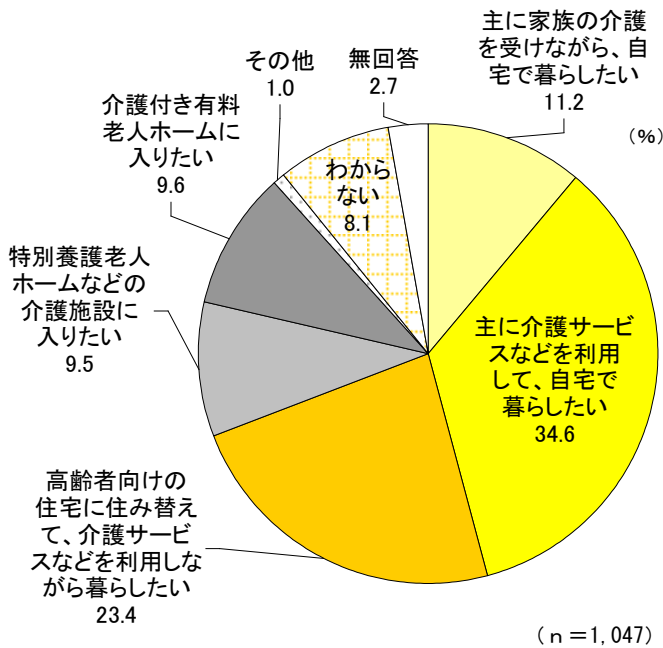
「勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた」(39.5%) が4割で最も高く、以下、「区で実施している健康診査を受けた」(27.8%)、「個人で人間ドックなどを受けた」(9.6%)、「加入している健康保険で実施する健康診査を受けた」(8.9%)などが続いている。



4 高齢者対策

■要介護時における暮らし方

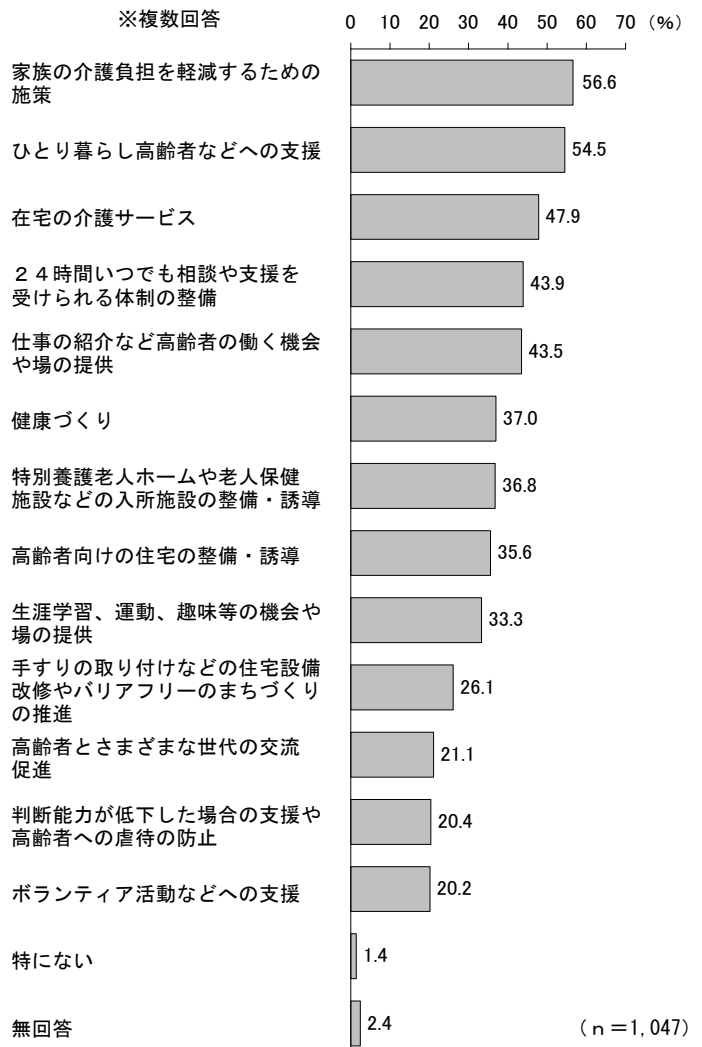
「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(34.6%)が3割台半ばで最も高く、以下、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(23.4%)、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(11.2%)などが続いている。



■区に望む高齢者保健福祉サービス

「家族の介護負担を軽減するための施策」(56.6%)が6割近くで最も高く、以下、「ひとり暮らし高齢者などへの支援(安心して居宅で生活するための見守りや緊急時の支援)」(54.5%)、「在宅の介護サービス(ホームヘルプサービスなどの介護保険サービスや配食サービスなどの区の独自サービス)」(47.9%)、「24時間いつでも相談や支援を受けられる体制の整備(ホームヘルプサービス、あんしんコールなど)」(43.9%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の整備・誘導」は7.4ポイント、「24時間いつでも相談や支援を受けられる体制の整備(ホームヘルプサービス、あんしんコールなど)」は6.8ポイント、それぞれ減少している。

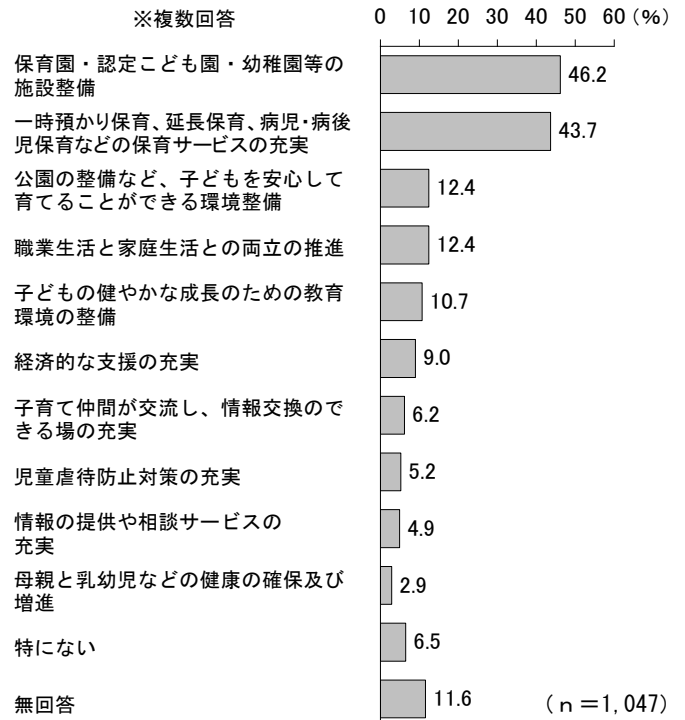


5 子育て支援

■区に望む子育て支援策

「保育園・認定こども園・幼稚園等の施設整備」(46.2%)が4割台半ばで最も高く、以下、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの保育サービスの充実」(43.7%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」と「職業生活と家庭生活との両立の推進」(ともに12.4%)などが続いている。

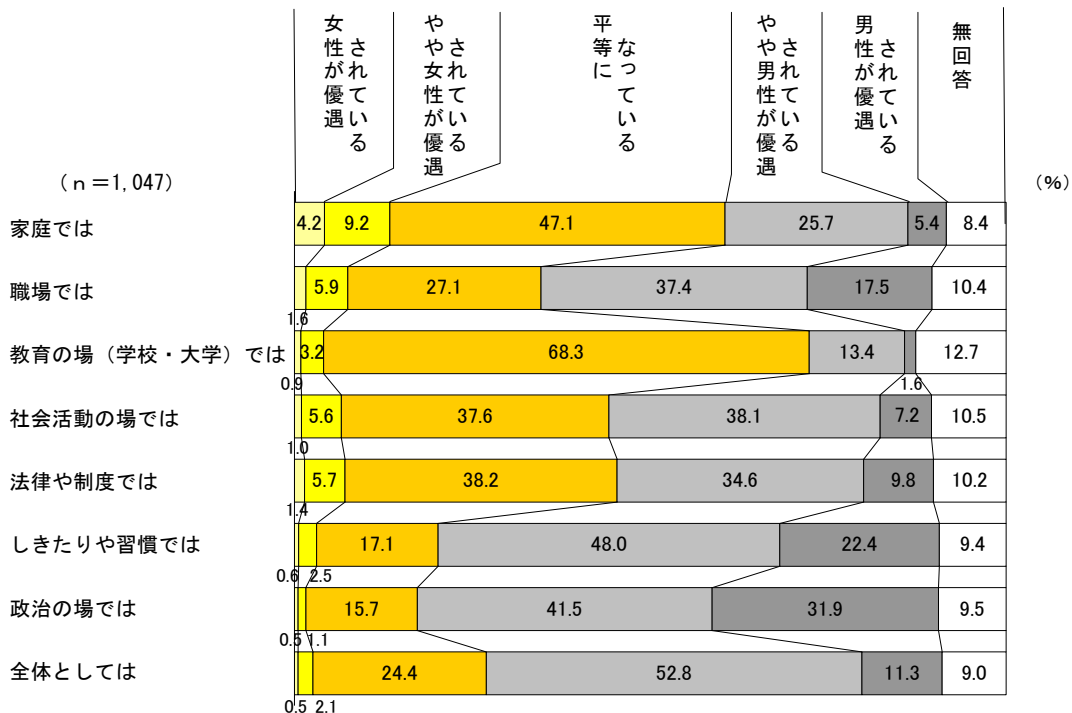
昨年の調査結果と比較すると、「職業生活と家庭生活との両立の推進」は16.2ポイント、「保育園・認定こども園・幼稚園等の施設整備」は7.5ポイント、それぞれ減少している。



6 男女共同参画社会

■男女の地位の平等感

男女の地位の平等感について、「平等になっている」と感じるのは、“教育の場(学校・大学)では”(68.3%)で7割近く、“家庭では”(47.1%)で5割近くと高くなっている。また、『男性が優遇されている』(「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計)と感ずるのは、“政治の場では”(73.4%)で7割を超え高くなっている。

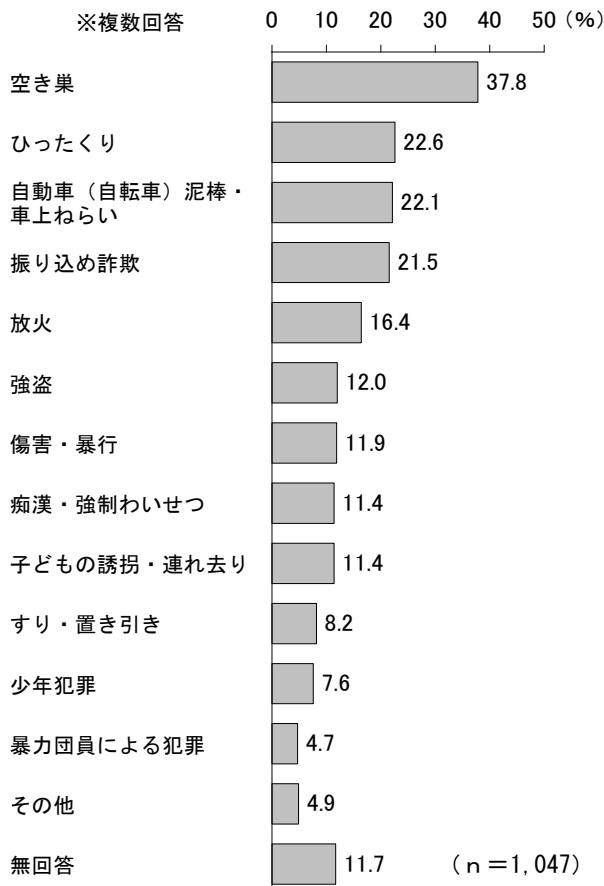


7 防犯対策

■不安に感じる犯罪

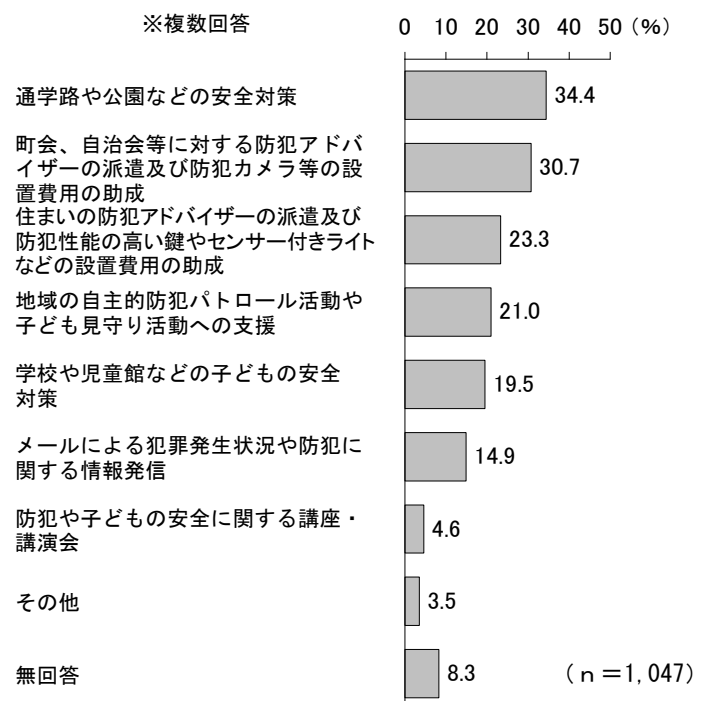
「空き巣」(37.8%)が4割近くで最も高く、以下、「ひったくり」(22.6%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(22.1%)、「振り込め詐欺」(21.5%)、「放火」(16.4%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「振り込め詐欺」は8.4ポイント増加し、「強盗」と「傷害・暴行」はともに4.9ポイント減少している。



■区に特に力を入れてほしい施策

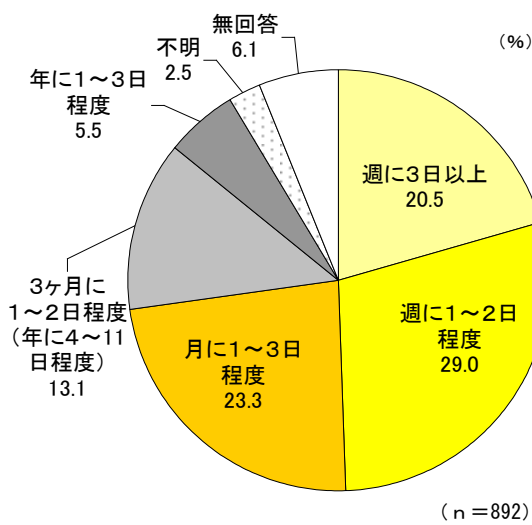
「通学路や公園などの安全対策」(34.4%)が3割台半ばで最も高く、以下、「町会、自治会等に対する防犯アドバイザーの派遣及び防犯カメラ等の設置費用の助成」(30.7%)、「住まいの防犯アドバイザーの派遣及び防犯性能の高い鍵やセンサー付きライトなどの設置費用の助成」(23.3%)、「地域の自主的防犯パトロール活動や子ども見守り活動への支援」(21.0%)などが続いている。



8 スポーツ

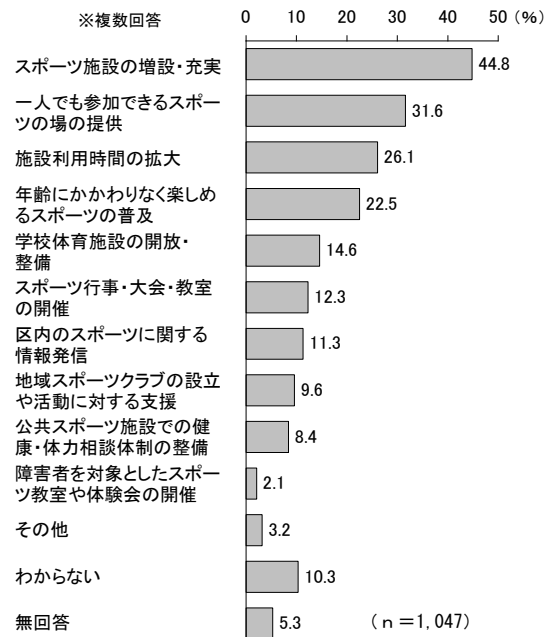
■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

「週に1～2日程度」(29.0%)が約3割で最も高く、以下、「月に1～3日程度」(23.3%)、「週に3日以上」(20.5%)、「3ヶ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(13.1%)などが続いている。



■スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

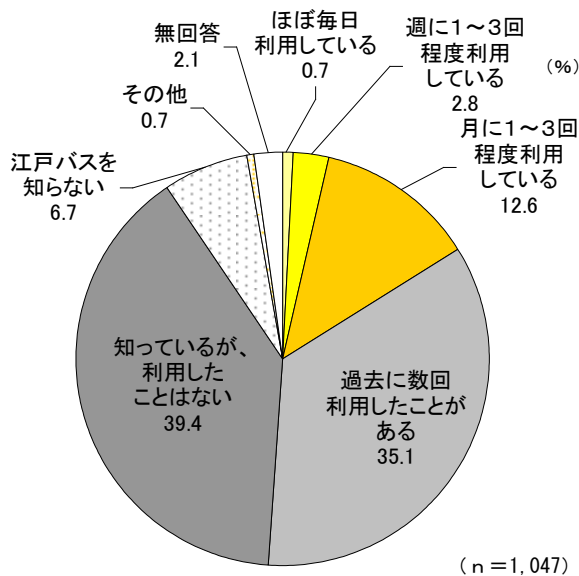
「スポーツ施設の増設・充実」(44.8%)が4割台半ばで最も高く、以下、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(31.6%)、「施設利用時間の拡大」(26.1%)などが続いている。



9 中央区コミュニティバス(江戸バス)の運行

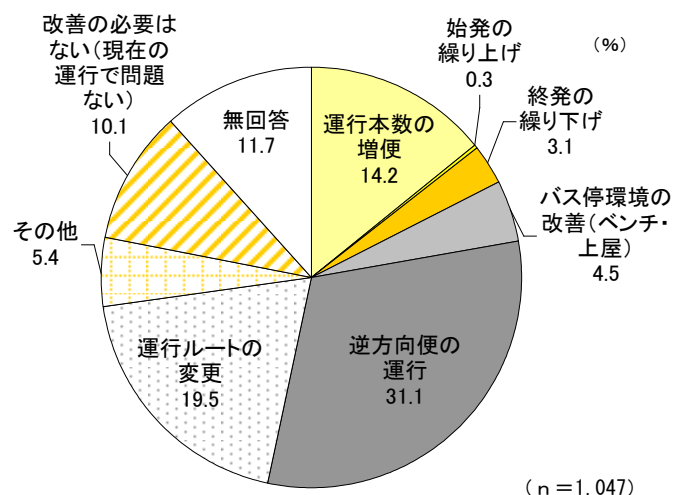
■江戸バスの利用頻度

「知っているが、利用したことはない」(39.4%)が約4割で最も高く、以下、「過去に数回利用したことがある」(35.1%)、「月に1～3回程度利用している」(12.6%)、「江戸バスを知らない」(6.7%)などが続いている。



■江戸バスの利便性向上のために優先すべきこと

「逆方向便の運行」(31.1%)が3割を超え最も高く、以下、「運行ルートの変更」(19.5%)、「改善の必要はない(現在の運行で問題ない)」(10.1%)などが続いている。



10 施策の要望・評価

■ 区の施策の満足度

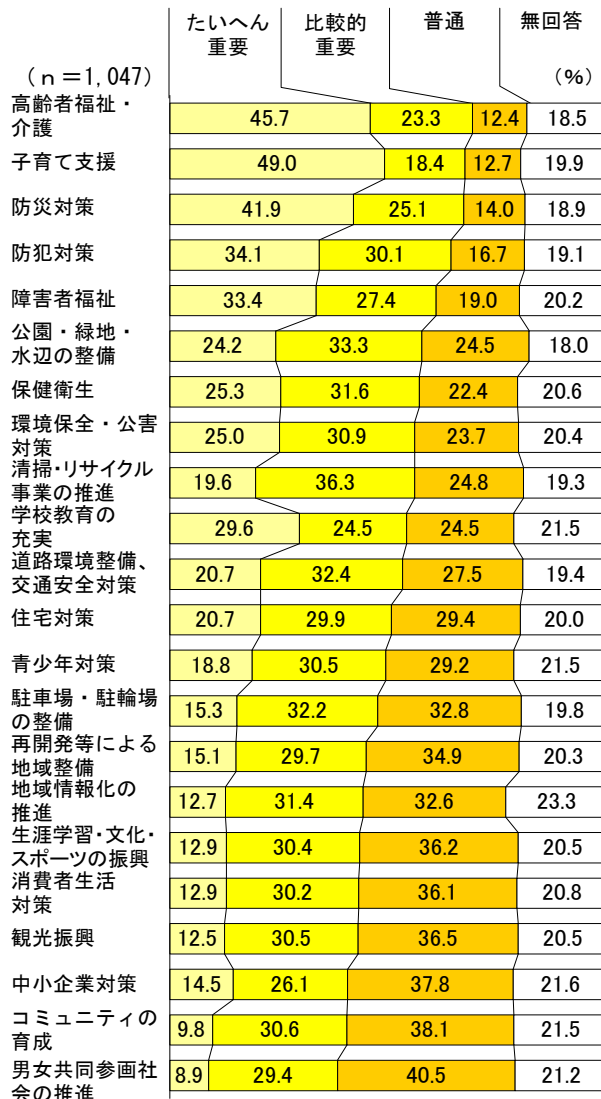
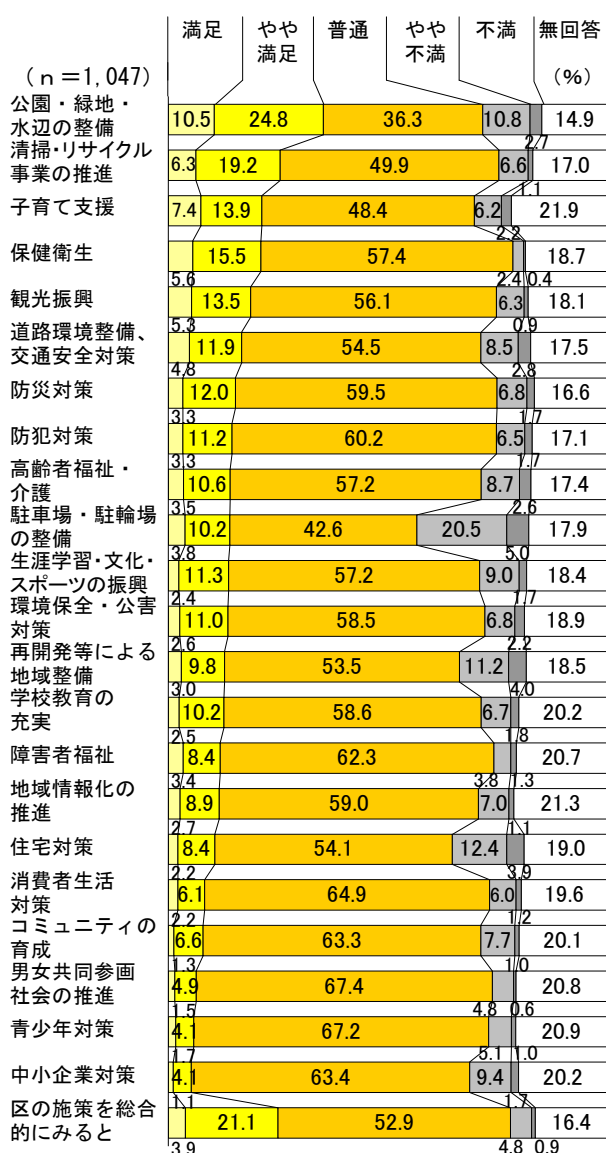
「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

- 『満足』 ①公園・緑地・水辺の整備 (35.3%)
 ②清掃・リサイクル事業の推進 (25.5%)
 ③子育て支援 (21.3%)
 ④保健衛生 (21.1%)
 ⑤観光振興 (18.8%)
- 『不満足』 ①駐車場・駐輪場の整備 (25.5%)
 ②住宅対策 (16.3%)
 ③再開発等による地域整備 (15.2%)
 ④公園・緑地・水辺の整備 (13.5%)
 ⑤道路環境整備、交通安全対策 (11.3%)
 ⑥高齢者福祉・介護 (11.3%)

■ 区の施策の重要度

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

- 上位 ①高齢者福祉・介護 (69.0%)
 ②子育て支援 (67.4%)
 ③防災対策 (67.0%)
 ④防犯対策 (64.2%)
 ⑤障害者福祉 (60.8%)
- 下位 ①男女共同参画社会の推進 (38.3%)
 ②コミュニティの育成 (40.4%)
 ③中小企業対策 (40.6%)
 ④観光振興 (43.0%)
 ⑤消費者生活対策 (43.1%)



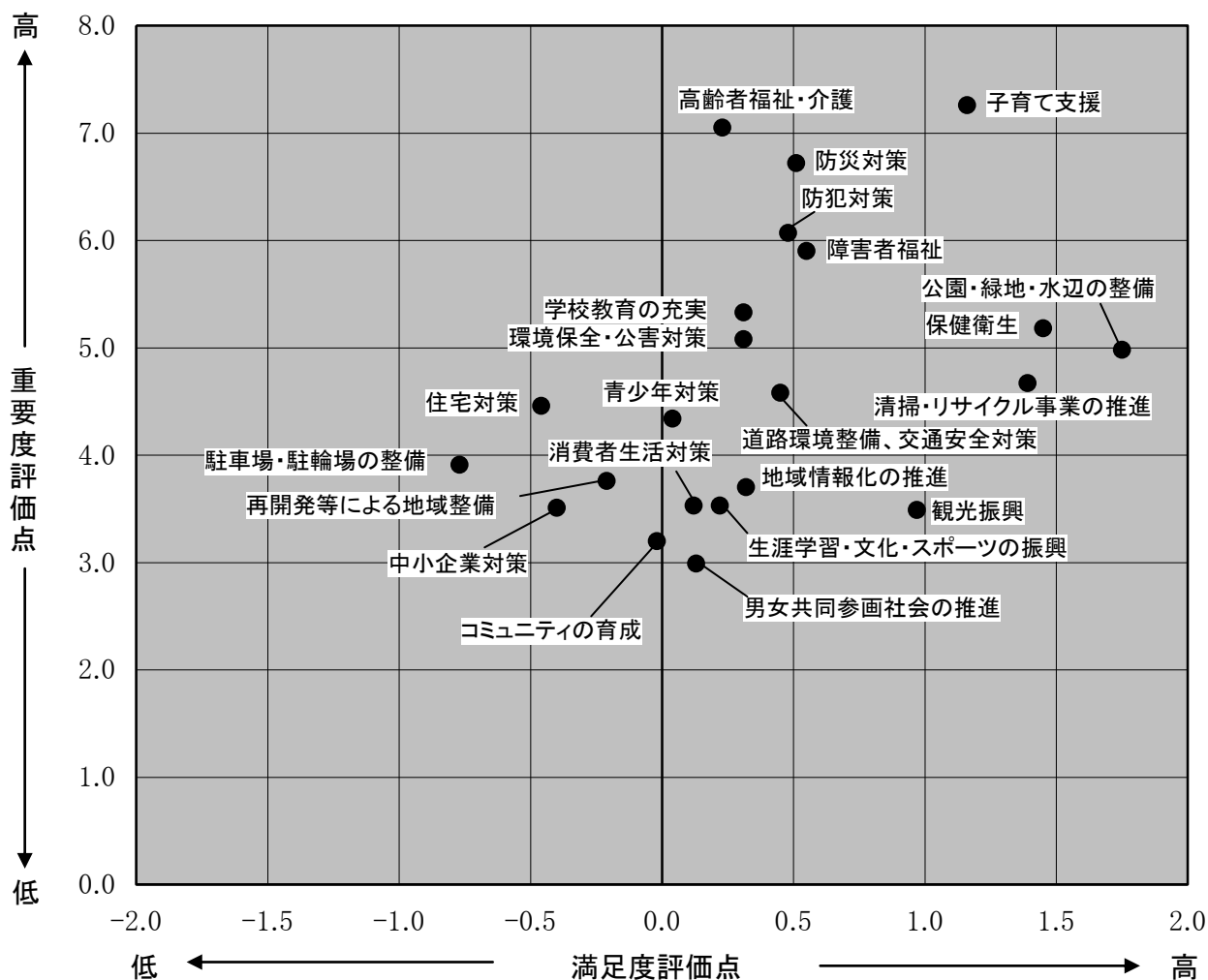
■ 区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\begin{aligned} \text{満足度評価点} &= (\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \\ &\quad \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点}) \\ &\quad \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{重要度評価点} &= (\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の} \\ &\quad \text{回答者数} \times 0 \text{点}) \div (\text{回答者数} - \text{無回答者数}) \end{aligned}$$

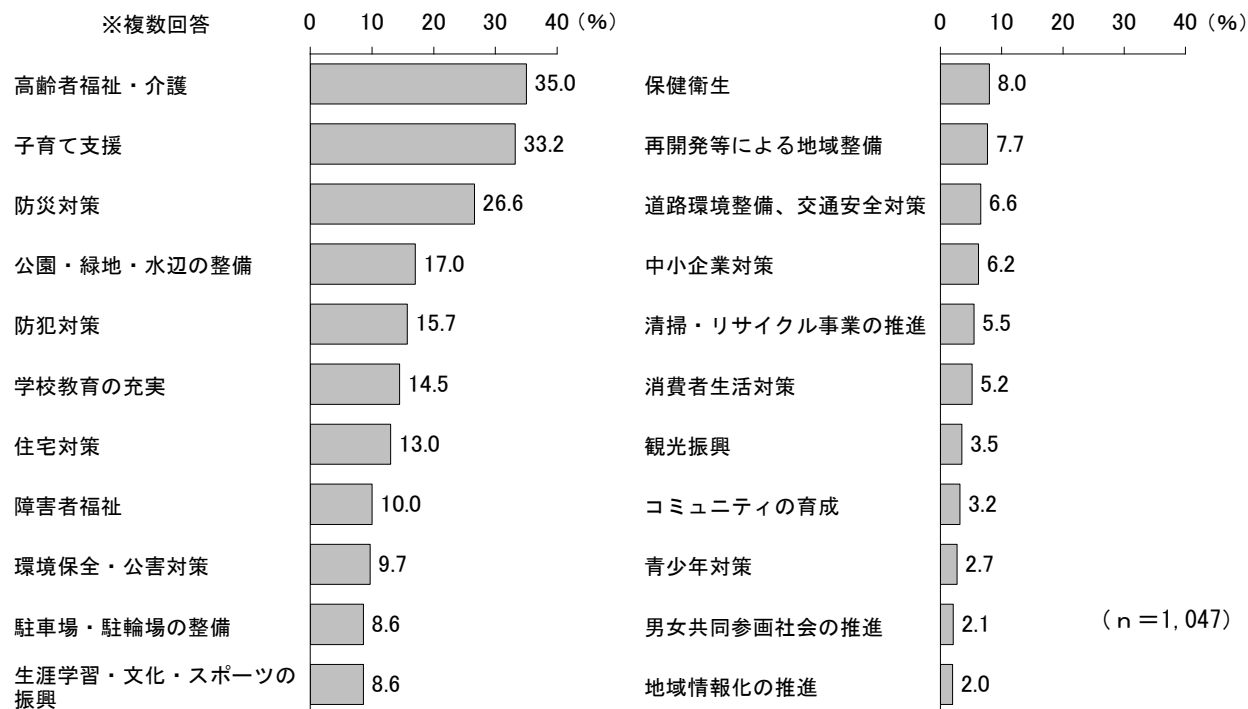
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」(35.0%)が3割台半ばで最も高く、以下、「子育て支援」(33.2%)、「防災対策」(26.6%)などが続いている。

昨年の調査結果と比較すると、「子育て支援」は1.4ポイント増加している。



第43回 中央区政世論調査

平成25年9月

発行 中央区企画部広報課
中央区築地1丁目1番1号
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社エスピー研
千代田区飯田橋3丁目11番20号
03(3239)0071

刊行物登録番号
25-037